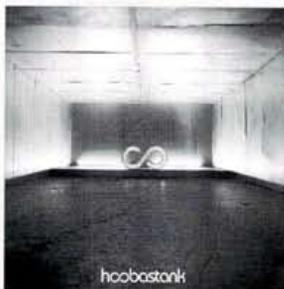




**コス∞モス**  
**今ここに在るもの**

Belwood Records 2000円(税込)

優しさの中に芯のとった感のある中性的なボーカル。日常的なシーンを後ろ向きに捉えながらも、確かに歩を進めるような印象の歌詞。そこに、ハートを包むようなピアノに、はじけるようなリズムが紡ぎだされる。詩、メロディ、リズムが一つになってコス∞モスの世界が広がる。意外と新しいアプローチのピアノポップ、である。



recommended 01

**HOOBASTANK/HOOBASTANK**

UNIVERSAL INTERNATIONAL 1980円(税込)

バンドの層台骨。Dr.吉野らしく偉大なグルーブが炸裂するロックな一枚がお気に入り。『とにかく1曲目のイントロから最後まで刺激的な最高の1枚です!!』。コス∞モスのどこかグルービーなリズムはココが原点?



recommended 02

**ZEBRA/HE RHYME ANIMAL**

POLYSTAR 2854円(税込)

Vo.石原の意外な一面を発見! J-HIP HOPの重鎮ZEBRAの本作は、高校の頃によく聴いたという変態盤。『3曲目の『I'M STILL NO.1』はまさにテンションがある。朝から聴くと、『今日もやっただー!』と気合入るよ(笑)。



recommended 03

**Alicia Keys**  
**The Diary Of Alicia Keys**

BMG JAPAN 2548円(税込)

幅広い音楽性でコス∞モスの世界観を広げるkey。奥村イテオシの一枚。『歌唱力はもちろん。ピアノスキル、ルックスetc...とにかく才色兼備!』。米田が誇る実力派R&Bシンガーソングライターによる名盤である。



**コス∞モス**

Vo.石原志織、Ba.森田亨児、Dr.吉野順也、Key.奥村千春の4ピースバンド。石原の呼びかけで'03年に大阪でバンドを結成。「ピアノポップ」の愛称で親しまれる。昭和歌謡的な懐かしいサウンドが話題を呼び、去年はFREED MUSIC ACTを皮切りに、関西の数々のフェスティバルに出演した。デビューアルバムのリリースを記念して、4月からライブツアー中。ワンマンライブは5月16日19:00~「梅田ジャングリラ」にて。前売り2000円(D別・自由席)

**PPS**

**POWER PLAY SOUND**  
Music is moistened our life. Tasteful album is here.  
We'd like to find your recommended one.

**天性の歌声にポジティブなリズムの融合、ピアノポップという新しい音楽のカタチ。**

「ワタシの歌がこんなふうになるなんて」スゴイ! とホーカルの石原志織は歌いながら震えた。メンバーに曲を渡し、歌合わせの日にスタジオに入ったときのこと、自分が作った歌詞やメロディにピアノやベース、ドラムが重なって聞こえた時の衝動がすごくて、涙が出るほど感動したという。コス∞モスが初めてのバンドはだという彼女の音楽のルーツ、それは祖父の部屋で聞いたレーザーカラオケ。「機械が祖父の部屋にあって、カラオケに勝手にメロディつけて歌ってたんです」それが、石原のボーカルとしての人生のスタートだったという。

ピアノサウンドが中心のギターレスバンドでピアノが要のコス∞モスは少し変わったポップユニットだ。ピアノを担当するのは奥村千春「高校から音楽学校へ行ってたけど、その時はクラシックが嫌いで洋楽とかワールドミュージックとかを聞いてました」と彼女は言う。その傍らでロックっぽい雰囲気漂わせているのがドラムの吉野順也。コス∞モスの繊細な歌を力強いポップスに変換する存在だ「僕はずっと洋楽ロックばかり聞いてきた人間でした。でも、志織ちゃんの歌を聞いて衝撃を受

けて、ジャンルを超えた手応えを感じた」。さらに、自分のドラムは、ユニセックスで低音がきいた温かみある石原の歌に向いていると考える。ところで、どうしてコス∞モスなの? ベースの森田亨児に聞いた。「コス∞モスって、花ではなく、『宇宙』のコス∞モスです。あまりにも花のコスモスと思われるので、無限『∞』のマークを入れました」。コス∞モスの歌は日常的なテーマや個人的な心境を詩にしていることが多いが、なんとなく個を超えたユニバーサルな感覚が漂っている。「詩はネガティブやけど、音はポジティブ、ライブなんか『ポジティブじゃないとアカンやろう?』みたいな。そうやって僕らが出す音がコス∞モスなんやろう」と森田は言う。コス∞モスで初めて歌った石原、あらゆる音楽を聞いてきた奥村、ロック的な強さでリズムを支える吉野、ライブが楽しくて仕方がないという森田。生き方も、個性も違う4人が奇跡的なタイミングで出会って絶妙な調和(コス∞モス)が誕生。日常をベースにした身近な詩、それをユニバーサルに変えるサウンド、彼らが目指すコス∞モスとは花よりも美しく、宇宙よりも大きいかもしれない。